第１回　地下鉄駅バスターミナル用地の有効活用に関する有識者懇談会

議事要旨

○日　時　　令和８年９月 30 日（水）　１０時００分～１２時００分

○場　所　　名古屋市役所西庁舎　12A 会議室

○次　第

１ 開会

・営業統括部長 挨拶

・座長の選出、副座長の指名

・座長挨拶

・会議の公開について

２ 本事業について

３ 議事

議事１ バスターミナルの開発事例

議事２ 土地建物権利についての法的整理

議事３ 開発可能性評価（非公開）

議事４ 現開発条件の課題（非公開）

４ 閉会

配付資料

資料１ 出席者一覧

資料２ 配席表

資料３ 検討対象用地図面

資料４ 平成２８年度調査結果（令和７年度版）

資料５ 令和７年度サウンディング調査結果

○出席者（敬称略）

■構成員

氏　名	所　属　等
加藤　義人	岐阜大学 客員教授 名古屋都市センター 特任アドバイザー
齊藤　由里恵	中京大学 経済学部 教授
恒川　和久	名古屋大学大学院 工学研究科 教授
丹生谷　美穂	渥美坂井法律事務所・外国法共同事業 弁護士
松本　幸正	名城大学 社会基盤デザイン工学科 教授

■名古屋市交通局（事務局）

氏　名	所　属　等
早川 元康	企画財務部 部長
渡邉 康之	企画財務部 経営企画課 課長
村上 貴信	企画財務部 経営企画課 課長補佐（企画）
西角 清一	営業統括部 部長
堀 千景	営業統括部 資産活用課 課長
吉田 典弘	営業統括部 担当課長（資産の有効活用）
池谷 辰仁	営業統括部 資産活用課 課長補佐（資産活用）
伊奈 雄紀	営業統括部 資産活用課 課長補佐（資産管理）
中根 純	自動車部 部長
根岸 宗高	自動車部 路線計画課 課長
松村 知幸	自動車部 路線計画課 課長補佐（路線計画）
原 直喜	自動車部 路線計画課 課長補佐（運行計画）
田中 将彦	自動車部 自動車施設課 課長
奥村 隼人	自動車部 自動車施設課 課長補佐（施設）

■その他

所　属　等
業務委託受託者　セントラルコンサルタント株式会社
住宅都市局　まちづくり企画部　まちづくり企画課

○座長、副座長について

・構成員の互選により、加藤委員が座長に就任

・座長からの指名により、松本委員を副座長に就任

○議事に対する発言要旨

■議事 1　バスターミナルの開発事例

齊藤委員	・ヒアリングについては、自治体だけでなく民間にも実施できるとよい
	・契約面での実情やリスク分担などの問題点も確認できるとよい
恒川委員	・事例調査の各バスターミナルについて敷地面積や延床面積などの情報が必要
	・名古屋市の地下鉄駅バスターミナルとの規模感が合ったものがよい
	・箇所の選定においては都市計画的な位置づけも踏まえるべきである
丹生谷委員	・民間事業として成立するかどうかがポイント
	・分譲マンションとするケースの場合、多くの地権者が存在するという課題がある
松本委員	・事業の目的にある「まち」への貢献をどのように評価するのか
(副座長)	・民間からの提案だけに頼るのではなく、行政として方針を示すことも大切
	・住宅都市局との調整をされたい
	・事例調査の中で地下空間を活用している事例はないか（参考になるのではないか）
	・事例について、開発手法や補助金の扱い、開発交通量に対する処理方法などが確認できるとよい

■議事 2　土地建物権利についての法的整理

齊藤委員	・リスクだけでなく便益も含めた評価が必要ではないか
	・事例調査のヒアリング時に当初考えていたリスクを確認できるとよい
恒川委員	・当局という表現になっているが名古屋市としての観点が必要である
	・広い視点で見渡して、名古屋市全体でのマネジメントを行うべき
丹生谷委員	・基本コンセプトが最低限事業後の所有権を守る事であれば、土地売却という選択肢は考えにくいのでは
	・法的比較の方法はリスクの大小というよりは個別の問題についての○×の判断ではないか
	・具体的なケースを想定して可否を検討してもよいのでは
松本委員	・交通結節点として機能させることであれば、30 年後、50 年後の対応も考慮すべき
(副座長)	・インシデント（地震、風水害等）の時の機能維持についても同様
加藤委員	・民間にとっての採算性と公共性の確保とのバランスが必要
(座長)	・土地も建物も公共側とし、民間がテナントとして入ることも有り得るのではないか

以　上